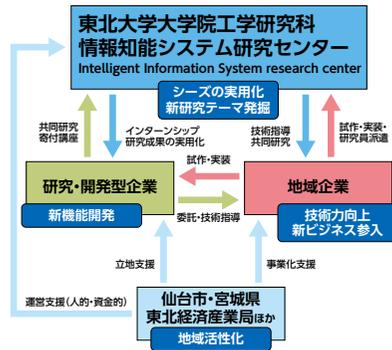


世界を牽引する研究で未来を拓く 次世代技術を創造する産学連携

工学研究科に産学官連携拠点「情報知能システム(IIS)研究センター」設立 次世代車の技術開発を活発化

2010年2月16日、東北大学大学院工学研究科に、産学官連携支援拠点として情報知能システム(IIS)研究センターが設置された。本学の工学研究科、電気通信研究所、情報科学研究科が連携し、電気・通信・機械分野に関連する約80の研究室が参画している。それらの技術資源を活用して、次世代の情報通信や、材料・エレクトロニクス、知能コンピューティング、電気エネルギーシステム、自動車・ロボット応用システム、メディカル・バイオ応用システム等に関する地域企業を絡めた産学連携の研究開発を支援している。



東北の自動車産業・次世代移動体システムの未来像を描くための産学官連携促進セミナー



2010年11月17日、本学は「東北大学重点戦略支援プログラム」の一つとして、「次世代移動体システム研究会」のプロジェクトである「環境と安全に配慮した次世代移動体システムの実証研究拠点整備」を採択した。東北大学重点戦略支援プログラムとは、独創的な研究拠点の形成、本学の持続的発展に資する基盤の形成、政策的・社会的課題解決に貢献するイノベーションの創出を目的とした研究プロジェクトを重点的に支援する制度。次世代移動体システム研究会は、2008年に東北大学大学院工学研究科と情報科学研究科、未来科学技術共同センターなどに所属する教授らが設立した「電気自動車研究会」を2010年1月に名称変更した組織である。2011年5月25日に、本学の片平さくらホールにおいて「東北の自動車産業・次世代移動体システムの未来像を描くための産学官連携促進セミナー」を開催。宮城県内の産学官連携体制のさらなる強化を促進し、本学と県内の自動車関連企業との共同による商品開発の可能性について考える機会となった。

東北大学未来医工学治療開発センター (TRセンター) オープニングセレモニー

2008年2月に、次代の革新的な医療を推進するためのトランスレーショナルリサーチ (TR) の実践の場として「東北大学未来医工学治療開発研究センター (Innovation of New Biomedical Engineering Center (INVEC))」を全学組織として整備した。2010年4月には、大学病院の旧西病棟 (2F～5F) の改修工事を完了したことに伴い、関連する研究者等の入居等も行われ、本格的に研究活動が開始される運びとなったため、2010年7月20日にはオープニングセレモニーとして施設見学及び「東北大が仕掛ける TR 戦略」と題してシンポジウムを開催した。



MEMS試作コインランドリ 本格稼働へ

本学のマイクロシステム融合研究開発センターにより開設されたMEMS (Micro Electro Mechanical Systems) を中心とする半導体試作のための時間貸し設備が2010年11月1日より本格稼働した。

宮城県とKCみやぎ推進ネットワークに関する協定を締結

2011年1月26日、本学は地域産業振興への積極的な貢献のため、宮城県と「基盤技術高度化支援に係る相互協力協定」を締結し、地域企業の技術力や研究開発力の向上等を支援する「KCみやぎ推進ネットワーク」へ参画した。



グローバルネットワークの構築を通じた、世界リーディング・ユニバーシティへの歩み 国際交流による世界最高水準の研究、教育拠点作りを目指して

第2回日露学長会議をモスクワにて開催

～ロシア海外大学共同利用事務所開所記念式典を併せて開催～

2010年9月11日、モスクワ大学 University Council Hall において、日露学長会議が開催された。日本側実行委員会、日本・ロシア協会、ロシア学長連盟、ロシア21世紀委員会の共催により、日本からは25機関、ロシアからは24機関が参加し、「イノベティブな発展のための課題解決に資する教育と科学 ～日本とロシアの経験から～」のテーマのもと、高等教育における共通課題等について、討議がなされた。

開会式では、各主催機関の代表等から挨拶がなされたほか、東北大学がモスクワ大学内で文部科学省グローバル30事業の一環として運営する「ロシア海外大学共同利用事務所」の開所記念式典も併せて開催された。

会議ではコミュニケが採択され、新たな共同研究プロジェクトの実施、イノベーションに関する情報・経験の共有、教員・学生交流の推進、概ね1年半に1回の頻度での会議継続開催等についての合意がなされた。次回の会議は、2012年3月に日本で開催される予定である。



開会式で日本側実行委員長として挨拶する本学の井上総長



事務所開所記念式典 (中央左: 井上総長、中央右: サドヴニチーモスクワ大学長)

「東北大学デイ」を開催 (厦門大学・清華大学・重慶大学)

東北大学では、2009年12月から、中国において「東北大学デイ」を開催している。目的は、優秀な留学生の受け入れを促進するための東北大学の紹介と、教育及び研究の交流の一層の拡大である。2010年度は、厦門大学 (10月15日: 厦門)、清華大学 (10月26日: 北京)、重慶大学 (11月5日: 重慶) で実施した。東北大学デイの内容は、東北大学総長の挨拶、ホスト大学の学長挨拶、東北大学の紹介、研究事例の紹介、留学事情の説明、ブースでの個別留学相談、東北大学紹介のパネル展示などである。また、清華大学では、研究事例の紹介に替えて3本のセミナー (理学・工学・経済) を開催した。



厦門大学におけるデイ (パネル展示)



重慶大学におけるデイ (パネル展示及び個別留学相談)



清華大学におけるデイ (井上総長挨拶)

「Future Global Leadership」(国際化拠点整備事業) を展開

東北大学では、文部科学省事業である国際化拠点整備事業 (大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業) を、「Future Global Leadership」という名称で展開。優秀な留学生の受け入れの拡充のために、新たなプログラム及び、受け入れ環境整備に取り組んでいる。

英語による講義や研究指導等を通じて学位が取得できる英語コースは毎年増設しており、2010年は、大学院レベルの英語コース3つを開講した。2010年10月には、社会・人文系学生向けの短期受け入れプログラム (IPLA) を開始。文系留学生の受け入れ幅を広げることができた。

2011年には、学部レベルの3つの英語コースの開講、文系サマープログラムの実施等、新しいプロジェクトが始まり、国際的に活躍する人材の養成に向けて、様々な構想計画を遂行している。



文系学生向け短期受け入れプログラム IPLA 開講式